【静岡県】

No. 71

静岡県立島田商業高等学校

青少年赤十字加盟校

ボランティア委員会＆地方創生SHIMASHO

高校生ボランティア・アワード2023

地方創生に向けた若者たちの挑戦 ～10年後の種まき～

活動概要

授業で学んだ意識を机上の空論に終わらせないよう、実践に活かし若者の力で地域を元気にさせようと、地方創生活動を行っている。

その活動とおして、ボランティア活動や地域イベントに継続的に参加し地域貢献していきたいと考えている。

そのため、単なる募金活動や当日ボランティアになることなく、継続して取り組めるよう事前学習や企画、運営段階から携わり、SDGs11「住み続けられるまちづくりを」につながる活動を目指している。

中小企業庁による「全国の商店街実態調査」の結果によると、シャッター通りが減らない理由について、中小企業庁の調査によると、商店が抱える問題のトップ3は、

1位 … 後継者不足
2位 … 店舗等の老朽化
3位 … 魅力的な店舗が少ない

であった。

1位 経営者の高齢化による後継者不足
2位 店舗等の老朽化
3位 集客力・話題性のある店舗が少ない又は無い

中小企業庁 平成30年度商店街実態調査

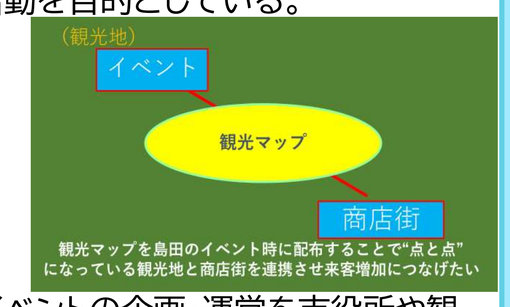
3位については、高校生の発想でも対応できると考えらることから私たちは、市内外のイベント来場者に島田をPRすべく、イベントのポスター・チラシの作成や商店街を取材し**「島商生が足で廻ったお店MAP」**の作成・配布を行った。

イベントで島田市を元気に（名所・旧跡から商店街への回遊）

活動の目的・志など

少子高齢化の今、新しい地域社会の在り方として、行政や大人任せにせず、高校生が地域資源を学び、商業で学んだ知識を活かし、地域の課題を解決する地方創生活動を目的としている。

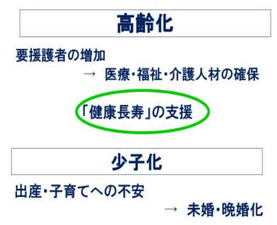
人口約10万人の島田市には、トーマスが走る大井川鐵道が有名だが、それ以外にも川越遺跡や蓬莱橋、諏訪原城等の名所・旧跡がある。



しかし、名所・旧跡と商店街は離れており、公共交通のアクセスも良くないことから、各地を結ぶイベントの企画・運営を市役所や観光協会、商店街と連携し行うことにした。

チラシ作成、配布、MAPづくりなど、企画段階から携わることで、私たちが住む地域の理解や地域の方と交流が生まれ、地域愛を育むきっかけになればと考えている。

地域愛が生まれれば、地元での就職や進学のほか、進学等で一時的に地元を離れても再び戻ってくるきっかけとなり、少子高齢化時代に対応するきっかけになればと思う。



また、熱海・牧之原など県内で起きた災害については、単なる募金で終わらせず、被災地を訪問して商品を仕入れ、イベントで販売するソーシャル・アントレナーシップを行っている。

※ソーシャルアントレプレナーシップ
単なる募金活動ではなく、商業的活動を行うことで、経済活動の復興につなげようという試み。

机上の空論に終わらせるな～「授業で学んだ知識と若者のアイデアを実践に！」

活動の詳細（実施内容/成果・実績など）

【今までの活動実績及び令和5年度予定】
・献血活動（校内献血の実施、郊外献血時の応援）
・JRC活動（海岸清掃、BSL入門、減災学習、国際交流、海外助け合い）
・社会福祉協議会（ベルマーク、募金活動、高齢者スマフォ教室、子ども食堂）
・文化祭での福祉講座（手話・点字・車いすの紹介、体験コーナーの設置）
・ソーシャル・アントレプレナーシップ（視察、仕入れ販売による商業的復興支援活動）
・地域イベント「和菓子バル」「蓬莱橋ぼんぼりまつり」「竹あかりプロジェクト」
（企画・運営からの連携、当日のボランティア）

蓬莱橋ぼんぼり祭りに人を呼び込むアイデアを出し合う生徒＝島田市の島田商業高

蓬莱橋ぼんぼり祭り実行委員会（神田民利実行委員長）は、地方創生をテーマに学ぶ島田商業高3年生26人を対象に島田市の蓬莱橋の歴史やぼんぼり祭りを紹介する出前講座を同校で開いた。

実行委のメンバーは蓬莱橋が全長897・4メートルで、世界一長い木造歩道橋としてギネス認定されたことなどを紹介。神田委員長は「皆さんが将来祭りを担っていく世代になってほしい」と呼びかけた。生徒は祭りに多くの人を呼び込むアイデアも出し合った。

島田商高生がアイデア披露

27、28日に開催される蓬莱橋ぼんぼり祭りは、蓬莱橋の認知度を高めようと始まった。今年で20回目を迎える。橋の欄干にぼんぼりが飾られ、周辺ではバンド演奏などの催しも行われる。

生徒は事前に蓬莱橋を見学し、祭り当日はボランティアも務める予定。ぼんぼりに使用する絵も制作している。村田大翼さん18は「島田の人々にとって大切な橋を今後も維持していくためにも、祭りを多くの人に知ってもらいたい」と話した。

令和5年5月16日朝刊

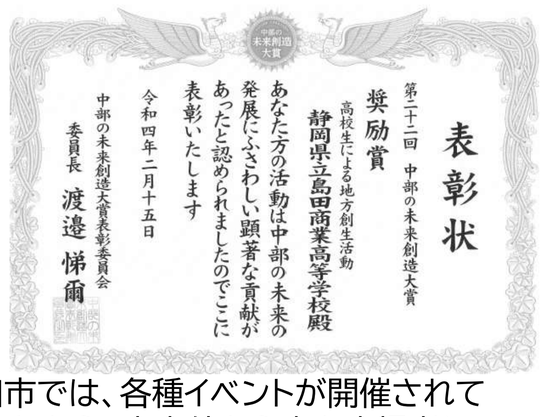
島田商高生「親しみ」描く

27、28日 蓬莱橋でお披露目

祭り彩るぼんぼり絵付け

5月 19日朝刊

（静岡新聞社編集局調査部許諾済）



表彰状

第二十二回 中部の未来創造大賞
奨励賞
高校生による地方創生活動
静岡県立島田商業高等学校殿
あなた方の活動は中部の未来の発展にふさわしい顕著な貢献があったと認められましたのでここに表彰いたします
令和四年二月十五日
中部の未来創造大賞表彰委員会
委員長 渡邉 悌爾

自慢の和菓子 一堂に
島田でイベント 着物姿の生徒販売

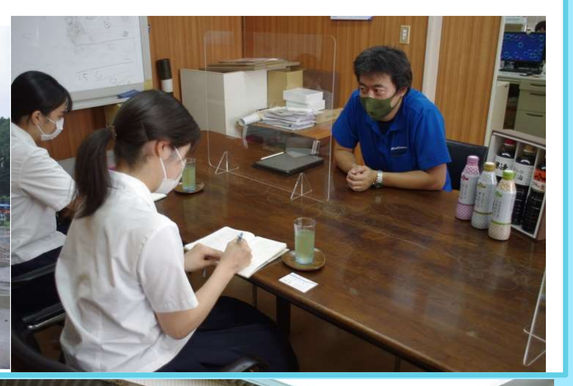
島田市では、各種イベントが開催されていることから、市内外から来た来場者に島田の魅力を知ってもらうためにPR活動をすることとした。

令和4年3月27日朝刊

その取り組み「和菓子バル」が中部の未来創造大賞”奨励賞”をいただくことができた。

「商業の特性を活かした復興支援活動」

私たちは、商業高校の特性を活かし、単なる募金活動ではなく、被災地を訪問し、商品を仕入れ販売する「アントレプレナーシップ」活動を実施しています。



「地域のみんなを笑顔に」 今後の展望・夢など

私たちの夢は、地域住民全員が笑顔でいられるまちづくりの担い手となること。今ある地域課題を解決し、若者が主体的となって行動する必要だ。

「地域と一体化するには？？」を考え、意識を変えていくことが大切だ。そのために、受け身ではなく、主体的に活動することが大切であり、私たちの成長につながる。

今後もボランティアの積極的な参加や呼びかけ、被災地訪問、献面推進を実施し、私たちも地域の皆さんも笑顔になる取り組みを続けていかなければと感じている。

活動団体プロフィール

ボランティア委員会【青少年赤十字JRC】と地方創生SHIMASHO【課題研究】の合同チーム

本校では、授業・委員会・部活動が連携をし、地域のイベントや奉仕作業に参加しております。

授業で委員会や部活動の内容をすることは難しく、また授業で郊外の活動を行うことも制限があるため、それぞれの利点を活かし、地域創生・SDGsにつながる取り組みを行っています。

そのため、活動内容は、献血の呼びかけ、募金活動にとどまらず、復興支援活動やイベントの企画・運営・補助など、様々な活動を行っている。